

I・C・S いわチャレ通信

(Iwamizawa Challenge School)

令和7年10月20日発行

第12号

編集・発行 岩見沢市教育委員会 生涯学習推進課

手づくり天体望遠鏡づくり

実施日：10月11日(土)

実施場所：郷土科学館

いわみざわチャレスクール『手づくり天体望遠鏡づくり』を実施しました。

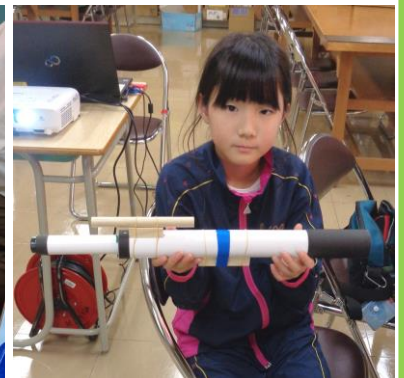
土星の輪もみることができる天体望遠鏡、キットの部品も多く、作業もむずかしい所がありました。余裕をもって全員時間内に完成できました。

当日は青空がひろがっていたので科学館にある天体望遠鏡をキットと同じ性能にして青空の中に輝く金星をみたり、昔のカメラをのぞき像が上下左右逆にみえる体験をとおしてレンズを通る光の性質も学びました。



大小沢山の部品を太さの調整しながら木工用ボンドで組み立てます。レンズの向きを間違えない様に、そっと入れて、最後にファインダーを取付けます。

ボンドが乾くまでビニールテープでおさえています。全員、自分の天体望遠鏡が完成しました。さあ、外へ行ってのぞいてみましょう！



雲一つない空でしたが、まずはお父さん・あ母さんと乗ってきた駐車場の車をみましょう。倍率が高いので探すに苦労しますが・・・うまくみつけると

みえる車は「逆立ち」してみえます。途中で勉強した明治時代のカメラでみる像と同じです。自分の天体望遠鏡・・・これからも大切に使って下さい。でも「太陽」だけは絶対にみないようにお願いします。

今回のいわチャレは

参加者：小学生3名（保護者2名） 指導者：岩見沢郷土科学館 管理指導員 南 敏文
「夜に月をみるのが楽しみ！」とアンケートにありました。参加されたみなさんありがとうございます。